

## case 01

## 土木

小名浜港湾建設事務所  
建設課

(平成24年度採用)

私は

人の話を聞くこと

が好き!

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#子育て

3歳の息子の元気な姿が毎日のやる気の源です。仕事との両立は大変なことも多いですが、逆に人として育てられている気がします。

keyword 02

#日々勉強

採用から10年が経ち、今後は教える立場になりたいと思い、勉強をし直し専門分野の資格取得を目指しています。定時に帰宅できるので、時間を有効活用できています。

keyword 03

#旅行好き

keyword 04

#主婦4年生

keyword 05

#港湾初心者



## 略歴

- H24～H26 県中建設事務所 道路課・河川砂防課  
 H27～H29 いわき建設事務所 河川砂防課・管理課  
 H30～R3 土木部 道路管理課  
 R4～現在 小名浜港湾建設事務所 建設課

## 安全・安心な福島の県土をつくる

道路や河川をはじめとする福島県のインフラ施設の整備・管理をしています。設計計画や工事現場の監督、災害時の対応、情報発信等を行うことが主な業務です。自らが計画したものが実際に現場に出来上がっていく様子はわくわくしますし、完成した施設を「整備してくれて便利になった」など、県民の皆様に喜んで使ってもらっていることを知ることがやりがいになっています。

## 県職員を目指した理由

土木を専攻していた学生時代に東日本大震災を経験し、壊れたインフラ施設の復旧の早さを目の当たりにしたことをきっかけに、“あって当たり前”を維持する大切さを実感し、育ててくれた福島県に恩返しをしたいと考え、志望しました。



## とある一日のスケジュール

8:30	メールチェック等	13:00	打合せ
9:00	施工現場立会確認	15:00	設計書作成
11:00	協議資料作成	16:30	事業進捗確認
12:00	昼休み	17:15	終業

## 印象に残っている経験・エピソード

新しく歩道を整備する事業に着手するため地域住民説明会を行った際、拍手喝采をいただいたことです。工事に着手することは騒音等で迷惑をかけることも多いため、説明会で拍手をいただくことは予想外な出来事でしたが、その事業がそれだけ地域の方々の長年の望みであったことを痛感するとともに、仕事のやりがいや重要性を強く感じた経験でした。



## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



ずっと福島県にいたいと思ってもらえるような、住みよい街をつくり守ることで。

そのために県民の要望や意見を聞き、本当に求められていることを把握することで、県民の皆さんと一緒にいることを意識した県土づくりに取り組んでいきたいと考えています。